

2017/4/25 (Tue.) 第104号

# 日本医師連盟ニュース

日本医師連盟ニュース  
 - 発行所 -  
 日本医師連盟  
 東京都文京区本駒込5-73-3  
 駒込SKビル1F  
 〒113-0021  
 TEL: 03-3947-7815  
 FAX: 03-3947-2662  
 E-mail: info01@nichiiiren.jp

<http://www.nichiiren.jp/>

定価 1年400円 (但し日医連負担金を含む)

## 日医連 医政活動研究会開かれる

# 横倉委員長 医政活動の重要性を語る



横倉義武委員長

医政活動研究会は金范敏日本医師連盟常任執行委員司会のもと、中川俊男副委員長からの開会の挨拶があり、そののち、横倉義武委員長は次のように挨拶した。

「今回は羽生田、自見両参議院議員、各県若手の医政活動研究会メンバー、そして特に各県医師連盟委員長にもお集まりいただき、医政活動研究会を開く

ことにした。昨年の参議院議員選挙で、各都道府県医師連盟・郡市区医師連盟の多大なご尽力により、自見はなご参議院議員を当選させていただいた。それから半年、羽生田先生、自見先生ともに活躍されている。

今年、年末に平成三十年年度の診療報酬と介護報酬の同時改定を控えており、また医療構想(ビジョン)・第七次医療計画、



講演を行う丸川珠代オリンピック・パラリンピック担当大臣

平成28年度日医連医政活動研究会が、2月25日(土)14時より各県医師連盟委員長、医政活動研究会メンバー、事務局等約200名が参集し、東京都内で開催された。

第七期介護保険事業計画ということで、日本の医療・介護・福祉がおおきな転換期を迎える。本来ならば消費税率を10%に引き上げ、それを社会保障の財源に充てるということであったが、消費税の引き上げが延期されておき、その分、どのように財源を確保していくかということが大きな課題となっている。

このなかで、年末に向け日本医師会の目指す医療政策を実現するための過不足のない社会保障の財源を確保するために都道府県医師連盟、郡市区医師連盟のご協力をお願いしたい。

本日この研究会に参加いただいた方には、地元に戻った際に、今日の会議のことを



挨拶する羽生田俊参議院厚生労働委員長

地元会員に伝えていただくことをお願いしたい」

続いて、羽生田俊、自見はなご両参議院議員から挨拶があった。今村聡副委員長より参議院議員選挙の結果報告、選挙運動・政治活動に関するアンケートのとりまとめと内容の説明が行われ(概要二面)、そののち、講演の部に入った。

丸川珠代オリンピック・パラリンピック担当大臣より、「二〇二〇年に向けて皆様とできること」と題して講演が行われた。大臣からは、「東京オリンピック・パラリンピックの熱中症対策では医師会の先生方の協力が不可欠。是非協力いただきたい」、「東京オリンピック・パラリンピックの際には世界の二十億人の目が日本に注がれる。日本の医療制度、国民皆保険制度をアピールする絶好の機会である」という話があった。

休憩をとったのち、横倉委員長



挨拶する自見はなご参議院議員

長より講演「国民皆保険を守るために」が行われ、医政活動の必要性、重要性が語られた。講演終了後、日医連役員と参加者の間で、活発な意見交換が行われた。医政活動研究会は松原謙二副委員長の閉会の挨拶で閉会した。そののち、会場を移し、懇親会が開催された。その際、さらなる意見交換、各都道府県医師連盟の事例報告が行われた。



日医連医政活動研究会(2月25日)